

今週のモーニングセミナー報告

令和5年3月22日(水)の講話 <第933回>

テーマ:「喜びの種まき」

講師:香川県高松三木倫理法人会 幹事 (株)FPパートナー 高松支社 植田真理 様

(松浦清貴 会長) 昨日のWBC最終回、泣きそうになりました。ヌートバー選手(母親が日本人・お父さんがアメリカ人)切り込み選手として活躍。葉八条「明朗愛和」の通り、愛和を大切にしている。村上選手が最後にヒット、泣きそうになりました。楽しさしかわきません～愛を持って接していたんだな～と思います。

(植田真理 高松三木法人会幹事) 昭和33年生まれの64歳。植木・貸し盆栽業の家に育つ。父も母も大切に育ててくれた。22歳の時にお見合いして結婚。新婚旅行の時、夫の会社(広告代理店)が倒産したと伝えられる。親に心配かけると思って半年間は高知から香川に帰省しなかった。持参金も数万円しか無かったので、持ってきたバイクを売りTVを売ろうかと相談する。その後長女を出産、三越へ勤務していたので、子供を背負い雑貨店を始めたのは苦でなかったが、収入が低すぎた。隣のテナントからブティックを引き継ぎ、多店舗化。店舗が増えるたびに金策に苦労する。主人の存在に感謝ができなかった。古い中古の家を買いその後、新しく新築する。夫が足の付け根が痛いといい始め。整体～整形外科～急性白血病の一種だと診断される。そんな時、次女の運動会のかげっこを見ていた夫が涙流していた、「優しい人だ」と先生から伝えられた。医大で検査結果、原因がわからなく、毛細血管の中にもハレて、全身に回る。10月に入院～12月亡くなった。家を建ててくれたのに感謝していなかったバチが当たったと思う。お店は2店舗にした。スーパーで他人の夫婦の姿を見るといいな～と。毎晩泣きながら過ごす。その後二人の娘を連れて再婚。60～70人の社員のいる会社の経営者だったけど、収入以上に浪費する夫でした。二人の男の子にも恵まれたが、後に暴力を振るわれるようになり。会社が倒産その後離婚。糖尿病で目の不自由な義父の世話。優しい子に育ててくれてありがとうと言われ。主人を恨むことを無い。そう思うように心変わりすると、義母から子供の学費に使ってとお金を振り込んでもらえる。恥ずかしい人生やけど、喜んで、感謝して生きていかなくてはと前向きな言葉で結ばれた。倫理ならではの体験を聞かせてもらったと、その言葉でほっとさせられました。

担当者:赤山 芳隆

喜びの種まきというテーマで講話をしていただきました。新婚旅行中に主人の勤めている会社が倒産することを言われて、まだまだ若いしやっていると話す。ブティックを立ち上げ7店舗経営するまで拡大していった。1店舗増やすことはすごくストレスになる話をされました。マイホームも建てて安定してきたと思っていたが主人ががんになって亡くなった。娘の運動会を観戦して涙を流す姿を先生から報告を受けたこと。私も子供が3人いるので子供の成長がどれだけ楽しいかわかります。その成長を見れないことになると涙が溢れ出ると思います。主人が亡くなった後、店舗を減らしていきました。子供には父親が必要だと思い再婚したが、まあじゃんに明け暮れる夫、金遣いが荒く妊娠している自分に暴力をふるう夫だった。殺されると思った。60人から70人くらいの会社の社長だったが会社もつぶして離婚した。子供をつれて生きていこうと思った。離婚して4人の子供を育てるために生命保険会社に勤務する。母の強さを感じました。そして前向きに生きている強さを感じました。私も苦難が来ても強い気持ちでやっといこうと思いました。ありがとうございました。

会長:松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは3月29日(水)朝6:00～7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「7つの宝を授かった、私の人生」と題しまして香川県倫理法人会 女性委員長 ジブラルタ生命保険(株) 高橋ひろ様のご講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 24社 24名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp